熊本日日新聞
kumanichi.com
夕刊
発行所 熊本日日新聞社
〒860−8506
熊本市中央区世安町172
☎代 表(096) 361−3111
© 熊本日日新聞社 2015年

2015年(平成27年)
4/9(木)
Thursday

きょうの発言

熊日出版文化賞

髙谷 和生
くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク事務局長

3月末、「熊本の近代化遺産」の執筆に関わった多くの方々と、第36回熊日出版文化賞の受賞を祝う集いができました。「2冊同時の刊行だったので編集委員や事務局は目が回る忙しさだった」「歴史的遺産を街づくりにさらに生かす素地ができた」など、多くの思いやエピソードが語られました。

私の担当は「建築・軍事」の分野で、総数は7件。全体からするとわずかですが、九州他県の同種の本と比べ、軍都熊本市をはじめ県内の戦争遺跡の特徴を踏まえて執筆できました。今回の刊行を通し、熊本の近代化遺産の中に軍事分野を確立できたのも大きな喜びでした。

活字文化の衰退が叫ばれて久しい昨今ですが、原因をネット文化だけに起因させても解決できません。2011年、共同執筆の『熊本の戦争遺跡』が第32回の熊日出版文化賞を受賞した時は、直後から書店で売り切れになりました。時代が求める良書を提供すれば、多くの読者は応えてくれるのです。

3月中旬から八代市立博物館新収蔵品展で、海軍艦上爆撃機「流星」の風防や軍用機車輪の展示が行われています。本展示にあわせ、『県内航空遺産と流星』のリーフレットを会で刊行し、来館者に無償で提供しています。

このリーフレットは小さな活字資料ですが、これらを積み重ねていくことで、大きな本にはない広がりが生まれると信じています。「記憶を記録」で残すことがいかに必要か。戦後70年が訴え掛けています。